

来館者が増え、利用状況が好調です。活動する十四団体が二月十七日、新庁舎で初めてのいこいの家サークル発表会を開き、歌や踊り、介護予防運動、展示など十七プログラムを披露しました。お年寄りの快適な交流の場づくりに努めたいと思います。

(部長 大津 信之)



晴れ舞台も新たに

総務部会

委員児童委員や町内会のみならずと協力。子どもから大人まで地域の福祉の「見守り役」を指して活動したいと思っています。

(福祉委員部会部長 有馬義憲)

平成三十年度の活動報告



待ってたよ

(部長 伊藤 修太)

高齢者福祉部会

お年寄りが住み慣れた地域で元気に活動してほしい。一月十二日、伴小学校で一年生と「むかし遊びの会」を開きました。伴学区の老人会、女性会、民児協の各団体と協力し、あやとり、お手玉、けん玉、こま回し、竹とんぼ、島跳びの六種目を実施しました。二十五人の協力者が児童にコツを伝えながら和やかに楽しく交流しました。

夏休みラジオ体操は、みなさんの協力で町内会とPTA地区指

児童福祉部会



楽しい一日でした

(部長 石富 三弘)

障がい者福祉部会

伴・伴東・大塚伴南学区共催の障がい者ふれあいの会を二月十七日、沼田公民館で開きました。三学区から計三十一人が参加し、午前はミニ運動会、午後は紙芝居を鑑賞。運動会ではベタンクを初めて企画し、みなさんに好評でした。障がい者への理解、地域との交流を広げたいと思います。

(部長 西田 雅行)

導部の応援が活発にあり、「子ども顔を覚えることができた」という報告も随分ありました。リーダー役の大人と連携が順調に体操会の成長を見た年でした。

学区内の八会場の「げんきかい」が一月、全国ラジオ体操連盟ホームページにアップされ、会場の地図と名前がパソコンやスマホから閲覧できます。

今後は、児童福祉部会が不登校や発達障害の児童、生徒さんなどに必要な支援ができるか模索しながら勉強会に参加したいと思っています。



顔と顔 見える地域 (大元国神社境内)

近隣の支え合い 地域を再生

伴あんしんネット 登録者増える



伴学区でお年寄りを近隣の人が見守る「伴あんしんネット」(伴社協や町内会連合会、民児協など四団体の共同運営)。昨年、初め一部の地区で先行した活動が全域に広がり、登録希望者が増えています。

三月現在、一人暮らしや高齢世帯のお年寄りの登録者は計三十九人。内訳は、伴中央ブロック二十八人、伴駅ブロック十一人。近隣の協力者も計二十八人上っています。

安佐南区の全小学校区のうち半数の十三学区がこの見守り活動を実施する中、伴の登録者数は、数年前から取り組む安、安西に次いで多いという。

伴では三城田、細坂両地区の計十一人から始まり十月から学

発足から5年 ボランティアバンク「とも」

お年寄りが安心して暮らせる地域支援を掲げるボランティアバンク「とも」は発足から五年。本年度、一人暮らしや高齢世帯のお年寄りから計十五件(二月現在)の依頼を受け、計十一件の作業支援をしました。

内訳は「庭の草取り」「庭木の枝落とし」など屋外作業六件、「カーテンの交換」「火災報知器の電池交換」「蛍光灯の交換」「片付け」など室内作業五件でした。

戸山・伴・大塚地域包括支援センター内
伴あんしんネットの会
電話八四九一五八六〇



庭の手入れ

短信 アグリアシストとも

草刈り作業応援団「アグリアシストとも」が広島市から協同労働モデル事業団体に認定。伴・大塚地区を対象に農業の支援活動をする。

事務局電話〇九〇(四八九八)一〇八七

私たちが対応できない農地の草刈りや防草ネットの敷設など四件は業者を紹介しました。

「とも」は①訪問作業支援②サロンのお手伝い③高齢者見守り活動(伴あんしんネット)を三本柱に百七人の会員で元気に活動しています。

連絡先は 老人いこいの家
電話八四八―三二七七
(上野昭司事務局長)

医療と介護の連携学ぶ 福祉委員合同研修会

福祉委員部会は二月十四日、幹事会と合同研修会を企画。大塚西に昨年開業した病院と介護サービス付き高齢者住宅の「メリイポスピタル」と「メリイデイズ」、別館の「メリイハウス西風新都」を見学しました。写真。

